



REBORN Ecotourism Network

# リポーン <エコツーリズム・ネットワーク> エコツアー・レポート 2011 新春



ニュージーランド・ワイポウアの森植林&砂丘へのクルーズ&ラン

南ドイツ黒い森ノルディックウォーク

ボルネオ島ピリット村の別れ

## 「国際生物多様性年」の次の2011年は「国際森林年」 地球は、そしてちっぽけな自分もキッカケを求めている！

お陰様でリポーンを創業して10年が過ぎました。その間、多くの皆様のご支援とご協力で多数のエコツアーを実施してきました。時にはツアーを提案する業者と参加するお客様との上下関係や主従関係ではなく、目的を達成するためのフェロー(同志、仲間)のようなお付き合いもしていただいたり、ある時は私たち側のメンバーに加わってツアーを運営したことも多々ありました。ココロを開いてお付き合いをさせていただけば、新たな気づきと、新たな出会いがあり、新しい世界が広がっていくのを皆さんと実感することができました。これこそ、仕事冥利に尽きます。

しかし、大規模な経営はこの種の業務には不向きであると信じているため、ご期待に迅速かつ多様に応えきれていないのがもどかしくもあります。これからの10年をどう生きるか? どう生かさせていただけるか? これまでの10年を振り返ると、ぼんやりと法則のようなものが見えてきました。「意志あるところに道あり、その道を行けば、友に会い、友と共に意志を高め、また、新しい道を見つける」旅での最大の収穫は「友」だと思えます。友のいる家を、村を、森を守りたくなります。そのためには自分がしっかりしなければ、健康でいなければ、家族や周囲の人々が幸せでいなければ、「旅」に出ることもできません。私は人並み以上に楽道家であるのに、健康については心配性です。運動(ノルディックウォーキングやジョギングなど)と睡眠と食生活と飲酒、そしてもちろん仕事のバランスが崩れるとココロもカラダも不安定になります。旅に出てもこのバランスを維持することが充実した旅の成果に繋がります。

さて、いつものようにちっぽけな自分のことばかり申し上げましたが、こんな人間も地球上にはたくさんいるはずで、だからこそ、元気になるキッカケを求めて旅に出ます。2011年は「国際森林年」。リポーンのリボーンマークは倒木更新(倒れた木からの新たな芽生え)をモデルにしています。樹木(自然)の再生を通じて、自分自身が元気に生きていきたい! という願いです。特に今年は森林の再生に力を注ぎますので、皆様も是非、キッカケづくりとしてのリポーンエコツアーにご参加ください。

生き生きとした人生を共に歩いていければ幸いです。

2011年新春 リポーン(エコツーリズム・プロデューサー)

吉岐 健一郎



9月 ボルネオ島の友だちと植林活動



今年も福岡県篠栗町のクスノキ(しょうのうの原料)の倒木から作ってもらった「干支の兎」に文字入れをしました。まだ上達しませんが、今度こそ..(吉岐)



5月 ワシントンアースデー本部へ寺田本家の酒を進呈

## 海外スタディツアー(エコツーリズムプロデューサー下見同行)

ゆったりとした生き方を感じる国ラオス。

戦後の復興後、発展し続けるエキゾチックアジア・ベトナム。

JICAや海外青年協力隊OB、OGの協力で、エコツアーとして商品化するための下見に行きます。私がTD(ツアーディレクター)役をしますが、全てがはじめての土地なので、参加者全員の理解と協力が不可欠です。これまで毎年、ボルネオ島ホームステイ、オーストラリアグレートバリアリーフ、南フランスオーガニックワイン農家、ニュージーランド・ワイポウアの森、スウェーデン・デンマークエコライフ体験、南ドイツ黒い森、屋久島生活体験などお客様扱いはできませんが、その分、経費も削って、手作りで楽しく実施してきました。お陰様で参加者のご要望も多いので、今回も小回りが効くようにワゴン車1台定員の7名だけ募集します。現地合流が前提ですが航空機の手配をご希望の方は私と同じ便を手配します。私と一緒に下見(取材)ツアーに行ってみてみたい方はご連絡ください。

●旅行期間:2011年2月20日(日)~25日(金)6日間(予定)

●日程:①成田→ハノイ(ベトナム)→ビエンチャン(ラオス)②ビエンチャン③ビエンチャン→パクセ・ホアイフン村(バナナ繊維で織物)・ベンダーン村(ラタン製品)ホームステイ④ベンダーン村→サワナゲート→ハノイ⑤ハノイ観光後 深夜→⑥早朝 成田

●現地参加費用:8~10万円(ハノイ往復航空券手配希望者はご相談ください。約10万円)  
ホテル代(村の生活体験のため1泊ホームステイ以外はホテル泊)、食事観光視察他含む

●募集人数:8名(最少催行人数1名:私だけでも行くつもりです)

●協力:ラオス政府観光局/海外青年協力隊/JICA関係者他(予定)

※ ラオスは社会主義国家なので地方の村で自由にホームステイなど普通できませんが、  
今回はエコツーリズムで村の発展のために村長さんをはじめ特別の受入になります。



スマトラタピス

## WWF(財)世界自然保護基金ジャパン 特別企画【予告】

### スマトラ島のゾウのパトロール隊に会いに行くツアー



ゾウのパトロール隊

「かつては、島全体が豊かな熱帯雨林で覆われていたインドネシアのスマトラ島。この数十年で急速に森林破壊が進み、多くの野生動物がすみかを失いました。子ゾウのトミイもその一頭。ブキ・バリセン・セラタン(BBS)の森で保護されました。本来、野生の子ゾウが単独でいることはありません。親は何らかの理由で死んでしまったか、分断された森ではぐれたかは不明ですが、トミイは森の危機を私たちに知らせています。…」とWWF会報で紹介したゾウのパトロール隊に会いに行く企画が2011年夏、実現します。

2月中には詳細が決まりますが、募集定員が10名前後と少数しか設定できない予定ですので、ご興味のある方は資料請求され、早めにお申し込みください。

### お問合せ

有限会社 リボーン <エコツーリズム・ネットワーク>

東京都知事登録旅行業第2-4850号 (社)全国旅行業協会 会員

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1 ビューシティ新宿御苑 1203

TEL 03-5363-9216 URL: <http://reborn-japan.com>

FAX 03-5363-9218 Email: [eco-tourism@reborn-japan.com](mailto:eco-tourism@reborn-japan.com)

